

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成30年(2018年)1月1日)

○活断層

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
大阪湾		
300年	0.2%以下	0.3%以下
中央構造線(讃岐山脈南縁西部)		
50年	ほぼ0%-0.7%	ほぼ0%-0.8%
300年	0.009%-20%	0.01%-20%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
中央構造線(石鎚山脈北縁西部)		
30年	ほぼ0%-11%	ほぼ0%-12%
糸通(鹿島)(ケース1)		
30年	ほぼ0%-0.002%	ほぼ0%-0.003%

※活断層評価備考

・ここに掲載しているものは、再計算等の結果、発生確率値の表記に変更のあったもの。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成30年(2018年)1月1日)

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
相模トラフ		
次のM8クラス		
発生間隔	180-590年	
経過率	0.16-0.52	0.16-0.52
10年	ほぼ0%-1%	ほぼ0%-2%
20年	ほぼ0%-3%	ほぼ0%-3%
30年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%
40年	ほぼ0%-8%	ほぼ0%-8%
50年	ほぼ0%-10%	ほぼ0%-10%
100年	ほぼ0%-20%	ほぼ0%-20%
300年	ほぼ0%-80%	ほぼ0%-80%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
南海トラフ		
M8~M9クラス		
平均発生間隔	88.2年	
ばらつきα	0.20-0.24	
経過率	0.81	0.82
10年	20%-30%	30%程度
20年	50%程度	50%程度
30年	70%程度	70%-80%
40年	80%-90%	80%-90%
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
三陸沖から房総沖		
東北地方太平洋沖型		
平均発生間隔	600年	
ばらつきα	0.24	
経過率	0.01	0.01
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	0.3%	0.3%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
三陸沖北部(M8.0前後)		
平均発生間隔	97.0年	
ばらつきα	0.11-0.24	
経過率	0.50	0.51
10年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-2%
20年	0.09%-9%	0.1%-10%
30年	3%-20%	4%-20%
40年	20%-40%	30%-40%
50年	60%程度	60%程度
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
三陸沖南部海溝寄り(M7.9程度)		
平均発生間隔	109年	
ばらつきα	0.19-0.24	
経過率	0.05	0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%-0.01%	ほぼ0%-0.02%
50年	0.02%-0.3%	0.03%-0.4%
100年	50%程度	50%程度
300年	90%程度以上	90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
茨城県沖(M6.7~M7.2)		
平均発生間隔	21.9年	
ばらつきα	0.19-0.24	
経過率	0.27	0.31
10年	5%-10%	10%-20%
20年	80%程度	80%-90%
30年	90%程度以上	90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
千島海溝(1/2)		
超巨大地震(17世紀型)(M8.8程度以上)		
平均発生間隔	約340年~380年	
経過率	1.00-1.18	1.00-1.18
10年	2%~10%	2%~10%
20年	4%~30%	4%~30%
30年	7%~40%	7%~40%
40年	9%~50%	9%~50%
50年	10%~60%	10%~60%
100年	20%~80%	20%~80%
300年	40%~90%程度以上	40%~90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
十勝沖(M8.0~M8.6程度)		
平均発生間隔	80.3年	
ばらつきα	0.38	
経過率	0.17	0.18
10年	0.04%	0.07%
20年	1%	2%
30年	7%	8%
40年	20%程度	20%程度
50年	30%程度	30%程度
100年	90%程度	90%程度
300年	90%程度以上	90%程度以上

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
日本海真線部		
北海道北西沖(M7.8程度)		
平均発生間隔	3900年	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	2100年(0.54)は概数なので更新せず	
10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年	0.03%-0.4%	0.03%-0.4%
300年	0.2%-2%	0.2%-2%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
北海道西方沖(M7.5前後)		
平均発生間隔	1400-3900年	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.05	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
北海道南西沖(M7.8前後)		
平均発生間隔	500-1400年	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.05	0.02-0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
青森県西方沖(M7.7前後)		
平均発生間隔	500-1400年	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.07	0.02-0.07
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
山形県沖(M7.7前後)		
平均発生間隔	1000年以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.18以下	0.18以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-0.1%	ほぼ0%-0.1%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
新潟県北部沖(M7.5前後)		
平均発生間隔	1000年以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.05以下	0.05以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%

	2017年1月1日時点の評価	2018年1月1日時点の評価
千島海溝(2/2)		
根室沖(M7.8~M8.5程度)		
平均発生間隔	65.1年	
ばらつきα	0.22	
経過率	0.67	0.68
10年	20%程度	20%程度
20年	50%程度	50%程度
30年	70%程度	80%程度
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

※海溝型地震備考

・ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全て。

・黄色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったもの。